

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	9	豊田市立 平井小 学校	代表	尾坂 宏樹
------	---	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	「やまびこの森」や校庭の自然と触れ合う縦割り班活動	分野	C	自然体験
サブテーマ	～やまびこ遊びで自然と友達になろう～	[(その他)は分野を右欄に記入]		
学校づくりの視点（ねらい）	<p>本校の教育目標は「ね・れ・か・て」（ねばり強い子・れいぎ正しい子・からだをきたえる子・手をつなぐ子）である。この教育目標の実現に向けて、本校では縦割り集団「やまびこ班」での活動を行っている。</p> <p>やまびこ班での活動を通して、コミュニケーション能力や協調性、周りの人を思いやる心を育むことができる。さらに、そのやまびこ班活動をやまびこの森で行うことにより、子どもたちは自然の素晴らしさや楽しさを同じ班の友達と共有し、コミュニケーションが自然と増え、互いを思いやり、手を差し伸べるような場面も増える。また、やまびこの森に生息するどんぐりを使った「どんぐりごま大会」や校内ややまびこの森の樹木を題材にした「やまびこカルタ大会」に全校で取り組むことにより、共通の話題のもと、異学年で活発な交流が行われたり、互いのよさを認め合ったりする機会となる。そして、このやまびこ班活動の計画、実施の中心となる高学年は、リーダー性や協調性、自己有用感を高めることができる。</p> <p>本校のやまびこの森での活動は40年以上続くものである。森全体の老朽化が目立ってきているが、校内整備員や造園業者、そして子どもたちと手を携え、やまびこの森とその活動を今後も守っていきたい。</p>			
活動内容・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○やまびこ遊びの実施（月2回） 清掃時間を活用して行う。やまびこ班ごとに活動場所をやまびこの森、運動場、体育館、教室に分け、順番に変えることにより、やまびこの森での活動を安全に、十分に行えるようにする。やまびこ遊びの計画、運営は高学年が中心となって行う。 ○「どんぐりごま大会」「やまびこカルタ大会」の実施 10月にどんぐりごま大会、1月にやまびこカルタ大会を実施する。どんぐりごま大会に向けて、どんぐりごまの作製や練習をやまびこ班で行う。やまびこカルタの練習もやまびこ班で行う時間を設定する。 ○やまびこの森の整備 下草刈りや安全確認などを随時行い、子どもたちが安全に活動できるようにする。 			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・校内整備員 			
実績・期待される効果	<p>やまびこの森を中心としたやまびこ班活動を通して、自然の中で過ごすおもしろさを同じ班の友達と共有することで、結びつきが強くなり、協調性や互いを思いやる心が育つだろう。やまびこ遊びを計画、運営する高学年は、リーダーとしての自覚が育つとともに、他学年が喜ぶ姿を見て自己有用感が高まることだろう。</p> <p>自然の中で遊ぶ経験が少なくなった子どもたちにとって、やまびこの森での楽しい経験は、自然を愛しみ、思いやる心を育むもととなる。それが、地域やその地域に住む人を大切にする、ふるさと平井・豊田に根ざす人間の育成へとつながることを期待する。</p> <p>また、30年を超えた伝統ある「どんぐりごま」や「やまびこカルタ」は、継続・充実を図ることで、世代を超えた関わりのきっかけとなり、学校や地域の宝となることを期待する。</p>			
検証方法	<p>やまびこ班活動、「どんぐりごま大会」、「やまびこカルタ大会」での子どもたちの様子や活動後に活動を振り返る子どもたちの声をもとに、活動の有効性を検証する。また、活動の様子を学校からの通信や学校ホームページに掲載したり、「どんぐりごま大会」への保護者の参観を呼びかけたりすることで情報を広く発信し、保護者アンケートにて検証する。</p> <p>さらに、学校自己評価や学校アドバイザー会議での検証を進め、常に改善の視点をもって次年度へつなげていく。</p>			